



横浜音祭り2019

発達障害のある子供と保護者のためのワークショップ
音と光の動物園

この秋開催する、横浜の街そのものを舞台とした日本最大級の音楽フェスティバル「横浜音祭り2019」(会期：9/15～11/15)では、「クリエイティブ・インクルージョン」をコンセプトの一つとして掲げ、国籍、ジェンダー、世代や障害の有無を越えてあらゆる人に音楽の楽しみをお届けする取り組みを行います。この度、「クリエイティブ・インクルージョン」の一環として、子供たちの可能性を広げるため、発達障害のある子供とその保護者に向けたワークショップを実施します。ペーパークラフトづくり、デジタルアートと打楽器の体験、音楽とペーパークラフトで作った作品が動く映像の鑑賞など、五感に働きかけるプログラムを、子供と保護者が一緒に参加・体験し、楽しみながら感性や感覚を磨く機会をつくります。ぜひ、告知ならびに当日もご取材いただきたく、ご案内いたします。



昨年実施の会場の様子

公演名：発達障がい支援ワークショップ in 横浜 音と光の動物園

日時：2019年10月5日(土) 14:30-17:00/14:00 開場

会場：横浜みなとみらいホール レセプションルーム/6階 および リハーサル室/地下1階

プログラム：五感に働きかける音楽と映像で子供の可能性を広げるプログラム

1. 動物をかたどったオリジナルのペーパークラフトづくり
2. 感性を多方面から刺激する、デジタルアートと打楽器体験コーナー
3. 音楽と映像のコンサート(サン=サーンス《動物の謝肉祭》の演奏に合わせて、子供たちの作ったペーパークラフトが映像の中で踊ります)

出演：アーツスペシャル合奏団(演奏)

第1ヴァイオリン：鶴野紘之、第2ヴァイオリン：山田香子、ヴィオラ：七澤達哉、チェロ：横溝宏幸
コントラバス：篠崎和紀、クラリネット：笹岡航太、パーカッション：牧野美沙
ピアノ連弾：上田智子、蔵島由貴
ヤマハ・ドラムサークル(打楽器体験)

料金：無料 対象：発達障害のある小学生とその保護者 20組 40名(応募多数の場合は抽選)
参加申し込みは専用フォームから <https://www.yaf.or.jp/mmh/workshop/form.html> (9/10 締切)

主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)
東京藝術大学 COI 拠点、公益財団法人ベネッセこども基金、特定非営利活動法人 ADDS

共催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン 音楽の街づくり、金沢大学子どもこのころの発達研究センター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)／独立行政法人日本芸術文化振興会

構成：新井鷗子(横浜音祭り2019ディレクター)

問合せ：横浜みなとみらいホール「音と光の動物園」係 ototohikari@yaf.or.jp

◇ご取材・ご掲載・ご来場いただける場合には、下記へご連絡をお願いいたします。

このプレスリリースに関するお問合せ：横浜みなとみらいホール Tel: 045-682-2020 / Fax: 045-682-2023
広報担当：鈴木慶子、飯島玲名 事業担当：堀利文